

市中心部 キラキラ幻想的に



イルミネーションが施された公園

のしろまち灯り

能代市の中心市街地を光で彩る「のしろまち灯り」が13日、同市上町で開かれた。通り一帯に市民らが手作りしたキャンドルや灯籠が並び、幻想的な雰囲気をつくった。

中心市街地にぎわい創出につなげようと、市民団体らでつくる実行委員会（能登祐子委員長）が2007年から実施。例年はJR能代駅前や島町通りなどにも明かりを設置していたが、クマ対策のため今年は今場所を上町に限定し、開催時間を繰り上げ短縮した。

午後4時に一斉点灯し、動物のシルエットが浮かぶ影絵の灯籠や秋田杉の間伐材を利用した「スキ灯り」のほか、小割材や竹材を活用したさまざまな明かりが来場者を楽しませた。会場には屋台やキッチンカーが出店したほか、ダンスや演奏のステージも用意。能代松陽高による足湯コーナーも設置した。

（加藤龍太郎）

能代市の市街地を明かりで彩ったのしろまち灯り



北秋田きらきらフェスティバル

「第18回北秋田きらきらフェスティバル」が14日、北秋田市の米代児童公園をメイン会場に始まった。来年2月8日までライトアップを行う。JR鷹ノ巣駅前の商店街の店主らでつくる実行委員会（佐藤大代表）の主催。

この日は市内の園児や小学生ら約30人がサンタクロースの帽子などを身に付け、駅から公園までの道を行進した。家族で参加した佐藤陽さん（鷹巣小2年）は「みんな仲良く歩いて楽しかった。イルミネーションはいろんな色の光があつてとてもきれい。毎日でも見に来たい」と話した。



商店街を練り歩く参加者

点灯は午後5～10時。24、25、31日は翌日午前6時まで。関連イベントとして、21日と来年1月11日の午前11時から、商店街と米代児童公園で宝探しを開催。2月1日午後1時から、市民ふれあいプラザ・コムコムで地元アマチュアバンドらによるライブを開く。

（原田大生）